

## 自主的校内研修補助事業

信濃教育会では職能研修事業として「自主的校内研修補助事業」を行っている。これは、職能向上のため学校独自に行う校内研修に対する補助金、資料の貸し出し等を行う事業である。端的に言えば、各校が行う校内研修を資金でサポートしようというものである。

昨年度は67校から申請があり160万円余を補助した。今年度は、これを上回る学校から申請があるのではないかと期待している。各校からの申請書を見ていると、それぞれの学校が何に課題を感じ、何に関心を寄せているか伺うことができる。授業研究や教材研究だけでなく、職員運動や、地域巡り、陶芸を通しての人間関係作りなど、体を通しての研修を行う学校や、哲学書の読み合わせを行う学校など、さまざまだ。

教員はどのように育っていくのか、どうやって力をつけていくのか、ずいぶん長く語られてきたように思う。そしてそれは今も続いている。教員の不祥事や子どもの学力・体力などが問題視されるたびに、議論され、その都度新しい仕組みや制度が作られてきた。それはそれで必要なことだとは思っている。しかし、長野県の校長先生や多くの先輩の方々には、教員がどのように育つのかの問いに対する一つの答えを知っているのではないかと期待している。それは、校内研修をはじめとした学校での教員としてのくらしと、教育会や同好会等への自主的な参加という事実の蓄積であると。

校内研修は教師が教師として育っていくための要である。そして校内研修の内容や方法、研修の雰囲気や空気は学校によってさまざまである。その学校ごとに違い、特色があるからこそ、その学校で学ぶことがあるのであり、人事を研修たらしめているのである。

各学校においては、本会の「自主的校内研修補助事業」を積極的に活用していただき、学校独自の校内研修を推し進めていただきたい。